

ARDECO NEWS 11号

特集 オールドアメリカンデザイン
進化し続ける “ブロンコビリー”



▲ブロンコビリー 四街道店

アルデコ再発見！

アルデコ誕生20年。数字で見るアルデコ episode1

pickup



モールイメージの考察

シルエット（断面形状）から見るイメージの違い

留まることを知らず。 進化し続ける“ブロンコビリー”

オールドアメリカンスタイルデザイン

ステーキ・ハンバーグレストラン、株式会社ブロンコビリーの店舗建設部 伊藤 義徳 様と設計を担当した株式会社アルチザンの関根 豊 様、お二人にお話を伺いました。



▲ブロンコビリー国分寺店

株式会社 ブロンコビリー
店舗建設部 副部長 伊藤 義徳 様

300店舗を目指し、出店加速中！ 改装はイメージを一新

年間約15店舗の出店ペースで、新しい店を立ち上げています。関東圏では、東京、神奈川、千葉、埼玉に出店し、特に神奈川県が好調で、出店が加速しています。近々では200店舗、将来的には300店舗の出店を目指しています。

新店舗は、新築と改装でだいたい半々です。改装（居抜き）は既存店舗を活かしています。原状復帰に制限がある場合を除き、印象が変わる様に、ブロンコビリー仕様に変えています。それは、以前の店舗(他社)と比べ大きく”変わった感”が出るような改装です。以前の店舗で働いていた方が、「同じ場所で働きたい」と新しい当店に来ていただけますが、前の店舗と比べて、外観も内装もすっかり印象が変わってしまうので、皆さんびっくりされます。当社の改装店舗は、いずれも前店舗のイメージがなくなるくらい変わっています。

飽きられることに危機感

当社には、新しいモノを取り入れる社風があります。今の形にこだわらず、常により良くしていきたいと考えています。

お客様は飽きやすいです。飽きられる危機感は常にあり

ます。一目見て、驚きのある演出を心がけています。

ブロンコビリーの店内は、オープンキッチンです。お客様に調理風景を見せながら、臨場感を与えられるようにしています。また最近、ドリンクバーの上に大きなプロペラ機が刺さって見えるように飾りました。さらに、注文してすぐ食べられるサラダバーは、ステーキ等の料理を待たされてないと、お客様に感じて頂けると思います。待たせない為の演出です。

ブロンコビリーは、常に新しいものを提供していきたいと思っています。内外装ともに、これからもベースは残して3~4割は変えて行きます。

設計者と目線を合わせる

10年位前に現在の店舗建設部へ移動しました。以前は接客を担当していましたので、はじめは訳もわからず、店舗建設については一から勉強しました。

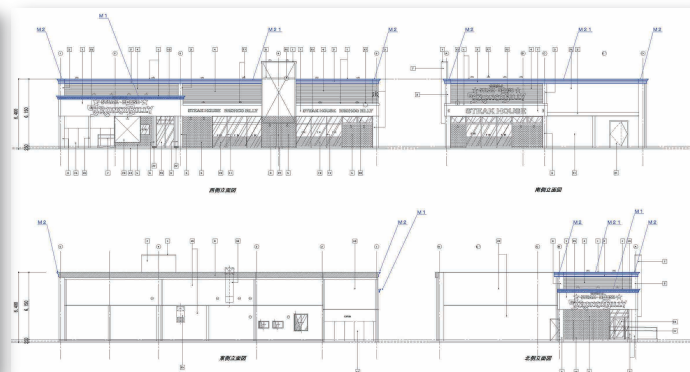
店舗がアメリカン風ですので、視察のためにアメリカに行きます。設計担当者とは、目線を合わせたいので、数年に一度、一緒に視察に行きます。そこで良いものに出会えば、取り入れます。設計者にもこれを取り入れたいと依頼します。要望はきちんと伝えます。

アルデコについては、設計者が選びましたが、選ぶには理由があると思っています。アメリカをイメージするこの材料が良いのでしょう。

製品自体は、内勾配仕様に変えたり、取付方法まで細かく調整ができることが良いと思っています。



▲ブロンコビリー四街道店。以前は回転すし店だった店舗を改装。



▲アルデコ用装飾設計図面

設計デザイン担当
株式会社アルチザン 取締役専務 関根 豊 様

オーナー様の意向を再現したい

私共とオーナー様との出会いは、コンサルティングの場です。オーナー様は、ブロンコビリー店舗立ち上げ当初から、多店舗展開を視野に入れていました。その為、当初からコンサルティングを含め関わり、一時期離れたこともありますが、現在も手伝わさせて頂いています。6~7年までは土地の選定まで関わっていました。今はオーナー様の会社が上場し、店舗開発チームが出来たのでそちらが担当し、与えられた場所で設計を行っています。

現在は、出店のスピードが早いので、2社体制で設計を行っています。全店舗の中で約8割は当社が設計を行いました。

アメリカンスタイルの店舗は、新しい店舗を“つくるたびに進化を”とオーナー様の要望の中で、一年くらいでデザインを少しずつ変えています。しかし、変えすぎると、同一店舗としてお客様が認識できなくなります。その為、多店舗展開で安定し画一化しているけど、進化はしていく感じでしょうか。設計としては、新しいデザインで作れるのは良いことです。そして、オーナー様の意向は出来るだけ再現したいと考えています。今後も、視察で入れた新しい情報等を取り入れ、進化した設計を行っています。

また、改装店舗は柱を残したスケルトン改装になります。本当はすべて壊して一から作りたいたところですが、企業としてはコストは重要ですから、お金をかけない方向で、後日の復旧の為に、なるべく“壊さず活かしながら”を考えて、設計しています。既存店舗（他社店舗）からブロンコビリー用に、復旧に制限がある店舗はその条件の中で、店舗を変えています。

種類が多い装飾材「アルデコ」

アルデコとの付き合いは長いですが、出会いは自分で探しました。探していた当時は、今のようにインターネットは発達してなく、雑誌等色々調べ探していました。

当時のモールは内装用が主流で、インテリア用としてのモールはありましたが、外装用はありませんでした。実際に、木造の建物にコンクリート製は使えませんし、内装用はサイズが小さいです。ヨーロッパの建物を見ても外装のモールはサイズが大きいです。例えば、W200×H400mmのサイズの外部用モールは、他社ではありません。

それに比べ、アルデコは外装用として、結構種類があります。いろいろな形状・サイズの製品を作れることが、長くアルデコを採用している理由です。

正直、アルデコを初めて見た時は「ちゃっちゃーな」と思いました。しかし、使えば使うほど、研究されて良くなっています。

建物にもっとモールを!

建物にもっとモールを使いたいです。建物の外部装飾にモールを使う時は、かなりの量を使うことになります。アメリカの商業施設を見てもすごくモールを使っています。

しかし、日本の商業施設はやっと最近使うようになってきましたが、それでも使われないこともまだ多いです。もちろん建築コストの問題もありますが、そもそも設計者自身がモールを使うことが頭にないと思います。商業施設のオーナーは視察でアメリカに行きますが、多くの設計者は行きません。だからモールが頭に浮かばないのでしょう。大手の企業もモールにコストを見ていない現状もあります。建物の外装デザインにはもっとモールを取り入れて欲しいですね。

■ 株式会社 ブロンコビリー ■

本 社 〒465-0097 愛知県名古屋市中区東区
平和が丘一丁目 75 番地
TEL : 052-775-8000 FAX : 052-776-4141
U R L <http://www.bronco.co.jp/>
事業内容 ステーキ、ハンバーグのレストラン事業
展開地域 愛知、岐阜、三重、静岡、滋賀、京都、大阪、
兵庫、東京、埼玉、神奈川、千葉
店 舗 数 全店直営にて 131 店舗
(2018年10月11日現在)

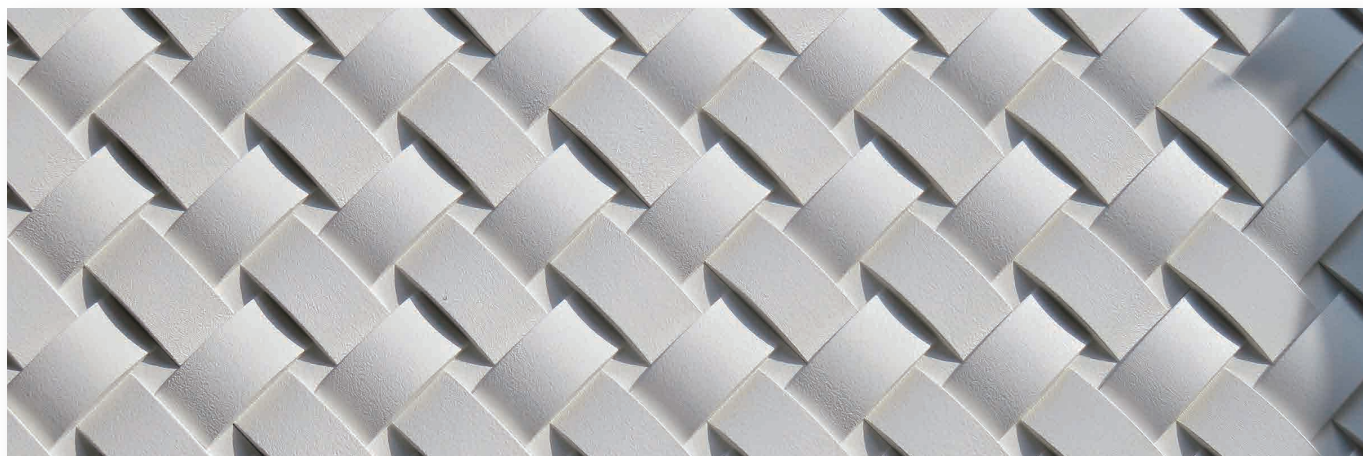
■ 株式会社アルチザン ■

所 在 地 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷
5-30-11 MEPO ビル 3F
TEL : 03-3356-6453 FAX : 03-3356-5873
U R L <http://www.artisans-tokyo.com>
事業内容 1. 商業施設及び飲食店の建築設計・店舗
設計管理業務
2. 飲食店のプロデュース及びコンサル
ティング業務

アルデコ誕生20年。

弊社インターデコムは2018年11月に、創業20年目を迎えます。

創業時から装飾建材「アルデコ」を製造販売し、アルデコも誕生してから20年となりました。



▲網代なまこ風アルデコパネル (H900×W900×D80 mm)

アルデコひとすじ20年！ EPS 装飾建材の先駆け

設計事務所を前身に起業した、弊社(株)インターデコムは1999年11月に建築用装飾建材「アルデコ」の製造・販売を目的に創業しました。創業当時は、EPS建材は他に無く、参入する建築業界は未開のフロンティアでした。当然、アルデコの知名度はゼロ。敷居は高く、アルデコを理解していただくだけで四苦八苦でした。弊社社員は、製品には絶対の自信をもっていましたが、EPS(発泡ポリスチレン)のイメージが固定されていて、その誤解を解くのにとても苦労しました。さらに、EPS装飾建材が少し浸透してくると、類似製品が増え、競争も激化していきました。類似製品には粗悪なものもあり、またそれがEPS製品のイメージを悪くする形になり、製品の良さを理解していただける様になるまで、10年以上はかかったのではないのでしょうか。

今日までアルデコは、他社の類似製品と競争し、しのぎを削ってきました。その中で消えていった他社製品は多数あります。アルデコは、誕生から20年を迎えます。この20年の歳月が多くのお客様に信頼され、支持していただき、採用されてきた証です。

特許を取得する意味 アルデコは4件の特許を有する

アルデコは4件の特許を取得しています。EPS装飾建材では他に特許を取得している製品はありません。特許は“新規性のある高度の技術的発明”でなければ取得できません。他の製品が一般的な手法で作られているのに対して、アルデコはインターデコム独自の手法で、アルデコを作る技術

が他社に無いと認められた結果です。それは、無から有を生み出す、“自社開発した製品である”との誇りと“常に他社より一歩先行く製品でありたい”“より良い製品をお客様に届けたい”という思いから生まれています。また、特許を取ることによって、今までのEPSのイメージを払拭し、建築材としての価値を高めたい。そして、お客様に建築用装飾建材とし認めていただけるきっかけの一つになればとの思いもありました。昨今では多くの皆様にアルデコを支持して頂くようになり、創業時のことを考えると、大変ありがたく存じます。これからも、最良の品質で皆様にお届けできるように、アルデコは日夜研鑽していきます。

専門・専従企業は当社1社！ プロフェッショナルの誇り

EPS建材を扱う企業の多くは、EPS建材のほかに取り扱った製品があり、EPS装飾建材専門メーカーという会社は弊社の他ありません。多くの企業が複数の製品を扱う中、EPS装飾建材専門企業としての立場は当社だけです。それは創業時から20年経った現在でも変わりありません。

EPS装飾建材専門企業である当社は、EPS装飾建材「アルデコ」一品専従です。取り扱う製品が一つですから、当然アルデコを、EPS建材をどこよりも深く理解し、常に研究しています。しかし、建築材として使われるEPS建材は、単純ではありません。製品自体は単純でも、それを取り付ける場所に問題があることがままあります。

弊社は、EPS装飾のプロとして、専門家ならではの知識と技術力で皆様のお悩みに向き合い、解決できる知恵があります。EPS装飾建材「アルデコ」のプロとして、他にはない“提案力”“デザイン力”で自信をもってアルデコをお届けします。

事故 0 件！ 未曾有の災害を超えて

▶右の年表の通り、この 20 年で大規模な災害は、何度も起きています。アルデコは、北海道から沖縄まで日本全国に納入されており、常に災害が身近にあります。実際、津波の被害や台風の被害にあっています。しかしアルデコは、現在（2018 年 9 月）まで多少の破損等があるものの、多くのアルデコは災害を乗り越えてきました。また、事故件数は 0 件です。これは、アルデコの特長である軽量で建物に負担をかけないことと、弊社の施工方法が功を奏した結果です。特に施工については、多くの現場経験から、現在はダンゴ貼りでの接着+引っ掛け金物によるダブルホールド工法（接着材、金物は当社指定）を使用した、当社独自の施工方法を採用しています。地震や風雨災害に対してより一層安全性の高い施工方法になっています。

また、販売した製品のデータは、原則すべて保存しています。有事の際は即対応できます。補修・修繕等にはモデル 1 本から対応でき、アフターメンテナンスも行ってまいります。さらに、他社製品の代用品としてもオーダーメイドならではの対応が可能です。

【2000 年以降の主な大規模災害】

2000 年 3 月 31 日	有珠山噴火
2000 年 10 月 6 日	鳥取県西部地震 M7.3
2001 年 3 月 24 日	芸予地震 M6.7
2003 年 9 月 26 日	十勝沖地震 M8.0
2004 年 10 月 19 日～21 日	台風 23 号
2004 年 10 月 23 日	新潟県中越地震 M6.8
2005 年 3 月 20 日	福岡県西方沖地震 M7.0
2005 年 9 月 5 日～8 日	台風 14 号
2005 年 11 月～2006 年 2 月	豪雪
2007 年 3 月 25 日	能登半島地震 M6.9
2007 年 7 月 16 日	新潟県中越沖地震 M6.8
2008 年 6 月 14 日	岩手・宮城内陸地震 M7.2
2008 年 7 月 24 日	岩手県沿岸北部地震 M6.8
2009 年 8 月 11 日	駿河湾地震 M6.5
2010 年 12 月 31 日～1 月 2 日	豪雪
2011 年 1 月 26 日	新燃岳噴火
2011 年 3 月 11 日	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災） M9.0
2011 年 9 月 2 日～3 日	台風 12 号
2013 年 10 月 14 日～10 月 16 日	台風 26 号
2014 年 2 月 14 日～16 日	豪雪
2014 年 8 月 20 日	広島市土砂災害
2014 年 9 月 27 日	御嶽山噴火
2015 年 9 月 9 日～11 日	豪雨 関東・東北
2016 年 4 月 14 日	熊本地震 本震 M7.3
2018 年 6 月 18 日	大阪府北部地震 M6.1
2018 年 6 月 28 日～7 月 8 日	豪雨 西日本を中心
2018 年 9 月 4 日	台風 21 号
2018 年 9 月 6 日	北海道胆振東部地震 M6.7

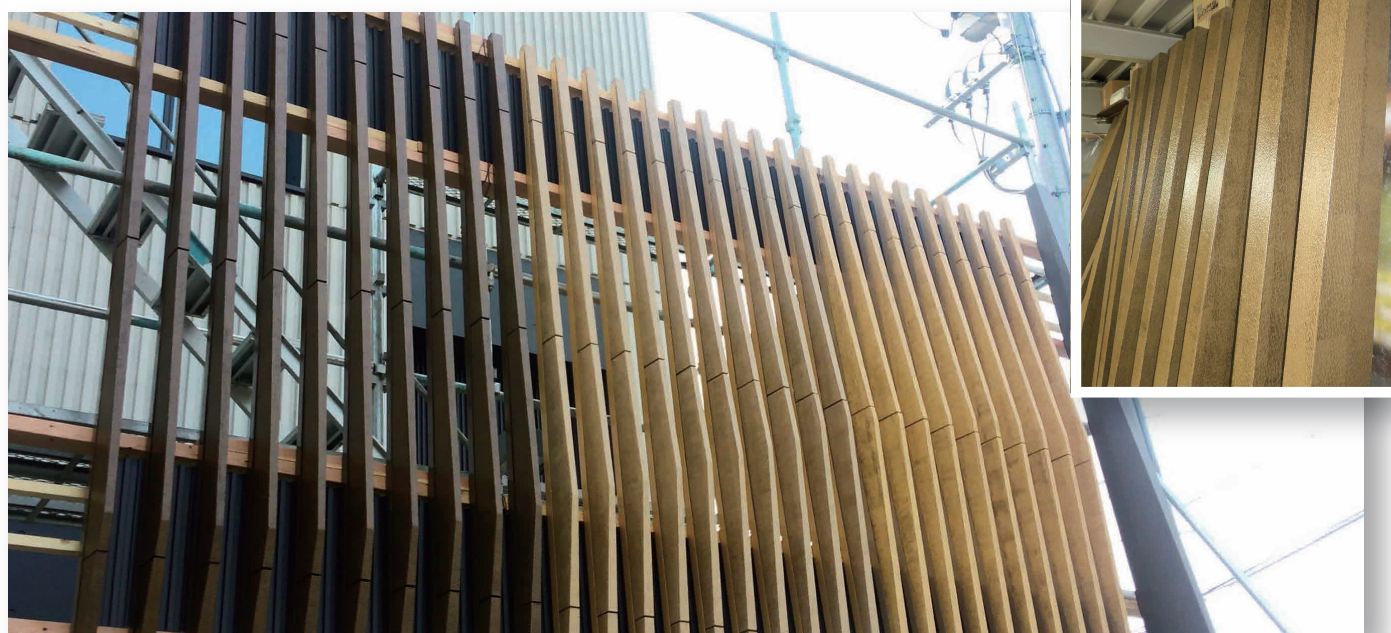
進化と挑戦！ 新たなニーズに応えるアルデコ

アルデコをご理解していただき、多くの物件に採用していただけるようになると、新たなアイデアやニーズが出てきます。アルデコはできるだけそのご要望に応えたいと考えております。当社の製造製品は名称としては「アルデコ」ひとつですが、アルデコ自体は一品ではなく、形の固定された製品でもありません。アイデア次第で、新たな姿を生み出せます。

◀左ページ上の写真は網代なまこ風のパネルです。編み目をモチーフにしたデザインです。↓下の写真は、アルデコに木調塗装を施した、ルーバー仕様のアルデコです。両

製品とも、それぞれアルデコの特徴である、“軽量”“反りや腐りがない”“自由な形状が作れる”等を活かしたデザインです。また、アルデコの得意とする大型のサイズです。建物に負担をかけずに装飾できるアルデコならではの製品です。さらに、他の建材で作るより安価で出来ました。いづれもお客様、設計者からの「こんなのできない？」から生まれた製品です。

「昨今の災害等で重い装飾は使いづらい」、「こんなデザインの装飾材を探しているんだけど、見つからない」などのお悩みはありませんか？アルデコはあなたの想いを形にしています。あなたのアイデアがアルデコを進化させます。皆様のご要望をお待ちしております。



▲木調のルーバー風アルデコ（モックアップ／H2815×W50×D150mm）



シルエット（断面形状）から見る イメージの違い

形によって人が受ける印象は変わります。モールの断面形状は、直線の凹凸で構成された形状と曲線を含む凹凸で構成された形状があります。それぞれがもつイメージについて見ていきます。

直線的形状と曲線的形状のイメージ

例えば文字の形で言うと、線幅が同一太さで直線的なデザインはゴシック系、線幅に変化がある曲線的なデザインは明朝系です。それぞれの一般的なイメージは以下のようです。モールの形状に対するイメージもこれに近いのではないのでしょうか。

【重厚な印象やモダンな印象】

■ゴシック体系：縦と横の太さが同一で、止めやはね、払い等に強弱がないのが特徴。装飾性がない。



【太いゴシック】
男性的、頼もしい、重い、硬い…

【細いゴシック】
女性的、スタイリッシュ、シャープ、モダン…

【丸ゴシック】
やわらかい、やさしい、ポップ、カジュアル…

【その他のゴシック体系の欧文書体】



【のびやかな印象やクラシックな印象】

■明朝体系：止めやはね、払い等がはっきりとした書体。楷書に近い。装飾性が高い。



【太い明朝】
男性的、力強い、クラシカル…

【細い明朝】
繊細、スマート、中性的、現代的、教育的…

【行書、草書】
和風、伝統的、優美…

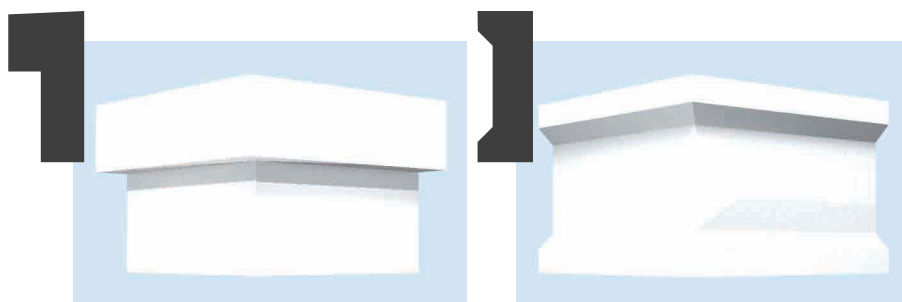
【その他の明朝体系の欧文書体】



直線的なシルエットをもつモールデザイン

直線が多く、曲線が少ない形状。段数が少ないと、単純なイメージに。奥行きのあるものや、大型サイズは重量感が出ます。

細やかな段を増やすと、繊細な印象を与えることもできます。



【重厚な印象やモダンな印象】



曲線的なシルエットをもつモールデザイン

曲線が多い形状。出っ張った曲線は柔らかさが強調されます。内側に大きく反り込んだ曲線はシャープなイメージにもなります。

シルエット（断面）だけで優雅な印象を醸し出しています。



【のびやかな印象やクラシックな印象】



建物への装飾イメージ

下の建物は、同じ箇所へそれぞれの形状で装飾をした例になります。直線形状は、シャープでモダンな印象に、曲線形状はクラシックな印象になりました。モールの断面形状は、建物のデザインコンセプトに合わせて選択してください。

▼直線形状のモールのみでの装飾



▲▼直線的な形状を使用したアルデコの事例



▲曲線形状のモールのみでの装飾

▼曲線的な形状を使用したアルデコの事例▼

アルデコは断面形状を自由にデザインできることが強みです。モダンにもクラシックにも対応します。建物の装飾に迷われたら、お気軽にご相談ください。"想いを形に！"アルデコは理想の建物作りの味方です。



※本ページ掲載の形状は、すべてアルデコで製品化できます。

インターデコムでは、
建物の装飾についてのご相談を承ります。

☎0120-978-413

インターデコムはメーカーですが、製品を提供するだけではありません。

約 3,000 件の採用実績があり、建物装飾のプロとしてあなたの疑問にお応えいたします。

お気軽にご相談ください。



インターデコムの Service

- デザイン提案
- 3DCG パースによる完成イメージの具体化
- アルデコの取付施工
- アルデコプレゼンルームの提供 他



アルデコプレゼンルーム



ビル外観



近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

販売代理店

■お問合せ先 編集・発行
株式会社 インターデコム

〒105-0013 東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル 7F TEL 03-6452-8901 / FAX 03-6452-8904
http://www.interdecom-co.com / E-mail ardeco-1@interdecom-co.com

iDeCom®

「ARDECO NEWS 11号」2018年10月20日発行

※ 許可なく本誌の全部もしくは一部を引用または、複製、転写などにより使用することを禁じます。

©株式会社 インターデコム